

令和3年度事業報告書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

特定非営利活動法人群馬リカバリーねっと

1、事業実施の成果

看護師、精神保健福祉士の有資格者を中心に、就労継続支援B型事業所「リカバリーハウス」、グループホーム「CoCoRiKa」を運営している。

(1) リカバリーハウス（就労継続支援B型事業所）

リカバリーハウスでは、各自の目標に向かって、生活リズムを整え、就労環境への適応を図るために日々の作業に取り組んでいる。令和3年度の作業収入は¥1,484,700（前年度¥1,657,950）、一人当たり平均工賃は¥8,734/月（前年度¥9,928/月）、最高額¥23,800/月（前年度¥23,850/月）と減少、平均利用者数も12.5人/月（前年度13.2人/月）と減少している状況である。これは、新型コロナウイルス感染拡大、緊急事態宣言発令に伴い、8月下旬～9月末までの期間は休業し、自宅から通所している利用者には電話やLINEで体調等の確認をし、グループホーム利用者の支援を中心にあたった期間があったことにもよる。10月再開後も請負企業からの作業依頼の変動もあり、短縮営業等が続いていた。休業期間や内職先の企業の物流の影響もあり、作業量・金額も前年度より減少していた。

新型コロナウイルスの影響を考慮し、前年度までのようなバイキング等の食事会は減ったが、季節や時期に応じて事業所内で食事を提供したり、近所の国道沿いの河津桜の花見に出かけ、交流や親睦の機会に努めてきた。

(2) CoCoRiKa（グループホーム）

昨年度サテライト型住居（定員2名）を新設したものの、新規入居者を見込まず、令和3年末に廃止とした。よって、現在は本体住居定員7名（7名入居）のグループホームとして運営している。

食事は、昼食と夕食の配食を基本にし、朝食や休日の食事は、個人の力量や希望に添って対応している。受診は、自力で無理な場合は同行している。リカバリーハウス同様、新型コロナウイルスの影響を考慮し、前年度までのような行事や外出等の機会は減ったが、事業所内で季節や時期に応じた食事を提供している。



2、事業の実施に関する事項

- (1) 特定非営利活動に係る事業
就労継続支援 B 型の運営
グループホームに関する運営
- (2) その他の事業
実施していない

3、会議に関する事項

- (1) 総会 令和 4 年 6 月 9 日
- (2) 理事会
隔月開催し、法人及び就労継続支援 B 型・グループホームの運営に関する事項について協議を行った。